



御田小 研究だより

平成30年 10月19日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

第2回研究授業報告

日時：9月19日（水）5校時
学級：4年2組 授業者 伊藤 翔太

<道徳> 『「正直」五十円分』（主題名：正直な心）

<授業でねらっていること>

○葛藤しながらも正直に行動しようとするだけしの気持ちを共感的に理解しながら、過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てる。

【授業の工夫】

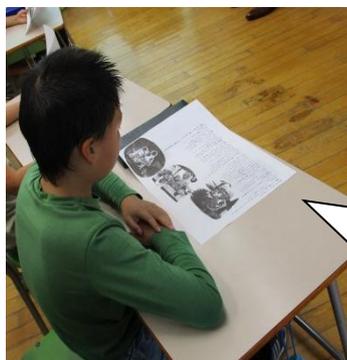


話し合い活動の工夫（共有化）

主人公の気持ち（正直に言う・黙っている）を想像して、相手に伝える活動をしました。全員が自分の意見を伝えたり、聞いて考えたりすることができました。ペアで役割演技をしたことを全体の場でも共有し、さらに個人の考えを広げることができました。

板書の工夫（視覚化）

場面ごとの絵を用意し、視覚的に内容を捉えられるようにしました。主人公の心の葛藤が明確になるように「正直に言う」という考えと、「黙っている」という考えを対比させ、児童が考えを広げやすくしました。



発問の精選（焦点化）

主人公の気持ちを共感的に理解し、主題に迫ることができるような発問を工夫しました。

教材・教具の工夫（視覚化）

オリジナルの挿絵を付け加え、物語のイメージをさらに深めることができました。

<授業を終えて>

今回の授業では、悩み、葛藤しながらも正直に言おうとする主人公だけしの気持ちを共感的に理解することを通して、「正直・誠実」について考える学習をしました。

役割演技では、主人公の心の葛藤を想像して友達同士で表現し合いました。話し合い活動の中で、自分の考えを広げたり、深めたりしました。

自分自身を振り返る場面では、これまで正直にできたことや正直に話せなくて後悔したことなどを考えました。正直であるからこそ明るい心で伸び伸びと生活できるということの大切さについて、一人ひとりじっくりと考えることができました。